



学校通信

令和6年 3月22日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第13号)

御卒業おめでとうございます。

校長 岩下 桂郎

三寒四温の言葉どおり、暖かい日寒い日を繰り返しながら少しずつ季節は春に向かい、本日の卒業式を迎えることができました。

令和2年からここ数年間、世界は予想もしなかった危機に直面しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、学校での学びや生活が大きく変化しました。そのような厳しい中でも、皆さんは強さと柔軟性をもって、互いを支え合い、困難に立ち向かう力を身に付けました。

令和4年度には、創立60周年という葛飾盲学校の大きな節目となる年を迎えました。60年という歴史を振り返り、次につなげる役割を立派に果たしてくれました。

そして令和5年5月に制限が緩和されてからは、宿泊学習、運動会など様々な行事に積極的に取り組み、その力を存分に発揮し、その姿を保護者の方や来賓の方に見ていただくことができました。

皆さんの頑張る姿は見る人に勇気を与え、皆さんの笑顔は共にいる人に希望を届けます。ぜひこれからも周りの人を照らす光であってください。

幼稚部の皆さん修了おめでとうございます。

葛飾盲学校に来たばかりのころは保護者の方と離れることがさびしくて、なかなか教室に向かうことができない日もありました。今では、友達や先生と遊んだり、作ったり、からだを動かしたりすることが大好きになりました。お話も上手になりましたね。小学部ではこれまで以上にたくさんの出会いが待っていると思います。これまでどおり、たくさん友達や先生と話をし、たくさんの物に触れ、世界を広げていってください。

小学部卒業生の皆さんは、一人一人の個性がキラキラ輝く皆さんでした。その輝きは御家庭や地域で温かく育まれたからであり、学校での学びや、寄宿舎生活などで培われたものです。この六年間で、以前には想像もつかなかったくらいできることも増え、立派になりました。中学部でも、周りの方からの支援を受け止め、その支えに感謝するとともに、しっかり自分の気持ちや考えを伝え、自分を理解してもらえるよう努めてください。

中学部の卒業生は、お互いの良さを理解し合い、友情を大切にする仲の良いクラスメイト達でした。一方で、生徒会活動など学校全体のリーダーとして取り組む姿は下級生のあこがれでもありました。4月からはそれぞれが新しい学校へ進学し、高校生活が始まります。自分はどう生きていきたいのか、社会とどう関わっていくのか、悩みながらも青春という輝きに満ちた高校生活を謳歌してください。そして、これからの新しい時代を担う者として、学び、成長し、人生を強く切り開いていってください。

最後に、未来に向けて進む皆さんに、教職員一同心からの期待と祝福を送ります。この道のりで、私たちが共に歩んできた思い出と経験を胸に、自信をもって前進してください。そして、時にはその成長した姿を見せに、学校へ来てくれるとうれしいです。